

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 いであ株式会社

コード番号 9768 URL <http://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 田畑 日出男

問合せ先責任者 (役職名) 内部統制本部長

(氏名) 斎藤 博幸

TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	12,971	9.4	1,606	46.9	1,511	37.0	1,091	10.2
24年12月期第3四半期	11,858	14.4	1,093	—	1,103	—	990	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 1,231百万円 (21.7%) 24年12月期第3四半期 1,011百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	152.80	—
24年12月期第3四半期	138.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	19,117	11,535	60.3	1,615.62
24年12月期	20,772	10,393	50.0	1,455.68

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 11,535百万円 24年12月期 10,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	12.50	12.50
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	5.8	900	12.8	900	9.3	500	△34.2	70.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	7,499,025 株	24年12月期	7,499,025 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	358,832 株	24年12月期	358,824 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	7,140,193 株	24年12月期3Q	7,140,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
(6) 重要な後発事象.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや政府の経済対策、金融政策などの効果を背景に、企業収益の改善が雇用・所得環境の改善や投資の増加につながり、緩やかに回復しつつあります。

当社グループを取り巻く市場環境は、価格競争の激化、契約形態の変化に伴う厳しい受注競争等が継続している中、官公庁からの受注依存度が高い当社グループとしては、依然として厳しい受注環境が続いているものの、政府の大規模な平成24年度補正予算と平成25年度予算により、当社業務内容と関連がある復旧・復興関連事業や防災・減災、社会基盤（道路や橋、堤防等）の老朽化対策等の公共事業が増加し、改善傾向にあります。

このような状況の中、安定的な経営を行うためには、組織の一体化・効率化等によりガバナンスを一層強化するとともに、優秀な人材の養成・確保と技術の総合化・多様化・差別化を推進し、さらに社会ニーズや社会環境の変化にマッチした組織構造・事業構造・事業領域への転換を図ることにより、当社独自のビジネスモデルを構築することが必要と考えます。

当社グループは、平成25年から平成27年までの新中期経営計画において、「イノベーションによる技術革新・市場創生と経営の効率化」を掲げ、特に①これまでの技術開発の成果をもとにした市場創生・新規事業の展開、②グローバル人材の育成、③コーポレートガバナンスの強化の3つの重要な経営課題に取り組むことにより、強い経営基盤の構築と安定的な成長を目指しております。

当第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年9月30日)における連結業績は、受注高129億2千9百万円(前年同四半期比5.3%増)、売上高は129億7千1百万円(前年同四半期比9.4%増)となり、通期予想売上高153億円の84.8%を計上いたしました。

また、売上高の伸長に加え、工程管理の徹底、作業効率の向上による外注費、販売費及び一般管理費の削減により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は16億6百万円(前年同四半期比46.9%増)、経常利益は15億1千1百万円(前年同四半期比37.0%増)となりましたが、税負担の増加により、四半期純利益は10億9千1百万円(前年同四半期比10.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。(セグメント間取引を含んでおります。)

(環境コンサルタント事業)

同事業は、当社及び連結子会社3社（新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株)）が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

売上高は81億7千7百万円(前年同四半期比6.1%増)、セグメント利益は6億4千2百万円(前年同四半期比12.3%減)となりました。

(建設コンサルタント事業)

同事業は、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門の4部門より構成されています。

売上高は44億2千1百万円(前年同四半期比17.5%増)、セグメント利益は8億6千6百万円(前年同四半期比199.4%増)となりました。

(情報システム事業)

同事業は、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

売上高は3億4千2百万円(前年同四半期比 7.2%増)、セグメント利益は1千7百万円(前年同四半期比 157.3%増)となりました。

(不動産事業)

同事業は、赤坂のオフィスビル、旧本社ビル等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は1億3千7百万円(前年同四半期比 6.2%増)、セグメント利益は8千万円(前年同四半期比 24.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ16億5千4百万円減少し、191億1千7百万円となりました。流動資産におきましては、主に現金及び預金の増加3千9百万円、受取手形及び営業未収入金の減少8億6百万円、仕掛品の減少10億8百万円により、前連結会計年度末に比べ17億6千8百万円減少し、52億7百万円となりました。固定資産におきましては、主に建物の減少1億6千9百万円、投資有価証券の増加1億7千9百万円により、前連結会計年度末に比べ1億1千3百万円増加し、139億9百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ27億9千6百万円減少し、75億8千1百万円となりました。流動負債におきましては、主に支払手形及び営業未払金の減少1億円、短期借入金の減少27億3千7百万円、未払法人税等の増加4億8千6百万円、賞与引当金の増加2億1千6百万円により、前連結会計年度末に比べ23億1千5百万円減少し39億4百万円となりました。固定負債におきましては、主に社債の減少2億4千3百万円、長期借入金の減少1億7千3百万円、退職給付引当金の減少8千万円により、前連結会計年度末に比べ4億8千1百万円減少し、36億7千6百万円となりました。

(純資産)

純資産におきましては、主に利益剰余金の増加10億1百万円により、前連結会計年度末に比べ11億4千1百万円増加し、115億3千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回(平成25年2月12日発表「平成24年12月期決算短信」に記載しております。)の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 追加情報
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	813,069	852,537
受取手形及び営業未収入金	1,307,370	500,763
有価証券	723	1,407
仕掛品	4,538,366	3,529,912
繰延税金資産	157,450	190,863
その他	158,977	132,006
貸倒引当金	△296	△92
流動資産合計	6,975,661	5,207,399
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,700,712	4,531,299
土地	6,916,452	6,910,952
その他(純額)	542,704	613,438
有形固定資産合計	12,159,869	12,055,690
無形固定資産		
投資その他の資産	103,103	92,368
投資有価証券	613,458	792,908
繰延税金資産	192,574	67,758
その他	748,587	922,307
貸倒引当金	△21,034	△21,181
投資その他の資産合計	1,533,584	1,761,792
固定資産合計	13,796,557	13,909,851
資産合計	20,772,219	19,117,250
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	566,653	465,978
短期借入金	3,269,509	531,808
1年内償還予定の社債	378,000	343,000
未払法人税等	109,442	595,767
賞与引当金	72,137	288,440
受注損失引当金	27,526	30,348
その他	1,796,840	1,649,349
流動負債合計	6,220,109	3,904,693
固定負債		
社債	683,000	440,000
長期借入金	462,459	288,603
退職給付引当金	2,643,417	2,563,140
役員退職慰労引当金	244,102	225,633
その他	125,299	159,369
固定負債合計	4,158,278	3,676,746
負債合計	10,378,388	7,581,439

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	3,966,761	4,968,514
自己株式	△138,951	△138,956
株主資本合計	10,353,620	11,355,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,980	170,375
為替換算調整勘定	2,230	10,068
その他の包括利益累計額合計	40,211	180,443
純資産合計	10,393,831	11,535,811
負債純資産合計	20,772,219	19,117,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,858,081	12,971,074
売上原価	8,345,303	8,971,036
売上総利益	3,512,778	4,000,038
販売費及び一般管理費	2,418,907	2,393,196
営業利益	1,093,870	1,606,842
営業外収益		
受取利息	1,721	6,180
受取配当金	4,375	4,907
受取保険金及び配当金	8,559	2,517
保険解約返戻金	13,191	5,621
その他	20,194	18,107
営業外収益合計	48,043	37,334
営業外費用		
支払利息	30,942	113,692
持分法による投資損失	—	7,101
その他	7,524	11,757
営業外費用合計	38,466	132,550
経常利益	1,103,446	1,511,626
特別利益		
債務免除益	—	227,284
特別利益合計	—	227,284
特別損失		
貸倒引当金繰入額	4,200	—
投資有価証券評価損	2,472	—
投資有価証券売却損	1,621	—
特別損失合計	8,294	—
税金等調整前四半期純利益	1,095,152	1,738,910
法人税、住民税及び事業税	168,717	588,664
法人税等調整額	△63,792	59,240
法人税等合計	104,924	647,905
少数株主損益調整前四半期純利益	990,227	1,091,005
四半期純利益	990,227	1,091,005

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	990,227	1,091,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,751	132,394
為替換算調整勘定	352	7,837
その他の包括利益合計	21,103	140,232
四半期包括利益	1,011,331	1,231,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011,331	1,231,237
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,696,271	3,757,576	319,495	84,738	11,858,081	—	11,858,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,329	5,320	—	44,451	58,100	△58,100	—
計	7,704,601	3,762,896	319,495	129,189	11,916,182	△58,100	11,858,081
セグメント利益	732,771	289,473	6,682	64,557	1,093,483	386	1,093,870

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,114,399	4,421,473	342,497	92,704	12,971,074	—	12,971,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,497	—	—	44,451	107,949	△107,949	—
計	8,177,897	4,421,473	342,497	137,155	13,079,024	△107,949	12,971,074
セグメント利益	642,904	866,569	17,193	80,142	1,606,811	30	1,606,842

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。